

報道関係各位

5月6日(日)高知競馬場で実施された重賞競走
「さんさんテレビ杯 第11回 黒潮皐月賞」は
- サラ系3歳OP・1400m(ダート・右回り) -
スパイナルコード号(牡・大関吉明厩舎)が優勝!

平素は当組合の競馬運営につきまして格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成19年5月6日(日)高知競馬場にて行われましたサラ系3歳の重賞競走、
第11回 黒潮皐月賞は、1番人気のスパイナルコード(明神繁正騎手騎乗)が2番手
追走から抜け出し、重賞初優勝を果たしました。2着は4番人気のマルタカスティーヴ、
3着は2番人気のミルスペックという結果です。

なお競走成績及び展開につきましては別紙のとおりです。

黒潮皐月賞ハイライト

昼過ぎまで続いた雨で不良馬場。スピード決着が予想される黒潮皐月賞は最内枠から好スタートを切ったアイデアタックの先行でスタートしました。これを見て1番人気のスパイナルコードは2番手に控えます。その後3番手は5番人気・ラストカリズマ、4番手に2番人気・ミルスペックという順の隊列となります。3コーナー過ぎに抜け出しを図るスパイナルコード。ラストカリズマが2番手に上がると、内からミルスペック、外から4番人気・マルタカスティーヴが差を詰めて直線に向きます。直線でも後続を突き放してゆくスパイナルコード。最後は、激しい2着争いを制したマルタカスティーヴに3馬身差を付けて快勝のゴールへ!中央未勝利で高知に転入したスパイナルコードが、前走に続く2連勝で重賞初制覇を果たしました。

【お問い合わせ先】

高知県競馬組合業務課

TEL(088)841-5123

FAX(088)841-5130

<http://www.keiba.or.jp/>

黒潮皐月賞トピックス

コメント 大関吉明調教師 (スパイナルコード)

「砂を被るのを嫌うので、それで力を出せないところがあるんです。
そこに気をつければね、なかなか走る馬ですね」

コメント 明神繁正騎手 (スパイナルコード)

「できれば先行したかったんですが、内の馬が速かったので控えました。
2番手だとやはり手応えがふわふわしていましたね。抜け出してからは、
相手が来るとまた伸びるという感じでしっかり走ってくれましたよ」

スパイナルコードは重賞初制覇

中央 5戦未勝利で高知転入。初戦 2着の後、前走の 3歳戦で初勝利を
挙げていた。

大関吉明調教師は 04年カイヨウソルトオーに次いでこのレース2勝目
明神繁正騎手はこのレース初勝利

兄弟馬で高知競馬の重賞制覇！

スパイナルコードの兄ラインフォーク(父グラスワンダー)は 06年高知優駿を
制しており、兄弟馬で高知競馬の重賞ウイナーとなった。ちなみに同馬
の叔父には種牡馬トーヨーリファールがいる。

勝ち馬 Check!!!

スパイナルコードは 06年 10月に中央競馬でデビュー。今年 3月までに 5戦
しますが勝利を挙げられず、4月に高知競馬に転入しました。4月7日の初戦
こそ 2着に敗れたものの、2戦目となった 3歳戦では先手から後続に 6馬身差
を付ける圧勝で初勝利をマーク。返す刀で臨んだ今回の黒潮皐月賞で重賞初制
覇を果たしています。同馬の異父兄は昨年の高知優駿馬・ラインフォーク。次
の目標は高知優駿の兄弟制覇となるのでしょうか。この 2戦で記録した勝ち時計
も 3歳にしては優秀なもの。今後の成長と一層の活躍が期待されます。

スパイナルコード... (馬名は、脊髄の意)